

科目名	問題解決技法（シミュレーション） Problem-Solving Techniques						
科目担当者	川島 秀樹 KAWASHIMA Hideki						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義／実習	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(3)
授業の概要	「シミュレーション」は経済・経営・社会システム分野においても幅広く利用されている。本講義では経済・経営・社会システム分野で用いられる様々なシミュレーションを、実例を交えて紹介するとともに、基礎的なシミュレーションのための技術と方法論を学ぶ。ノートパソコンを用いた演習をおこなう。						
授業の到達目標	① 情報処理や経済・経営工学の基礎を用いてデータ分析ができる。 ② 経済に関するシミュレーションを用いて、経済分析ができる。 ③ 具体的な問題解決を Excel で分析することができる。						
授業計画・内容	1	イントロ コンピュータシミュレーションとは					
	2	経済と環境指標の関係を測定する					
	3	不平等度を測定する					
	4	経済成長の要因を分解する					
	5	消費の変動を要因分析する					
	6	企業動向調査の結果を分析する					
	7	損益分岐点を算出する。					
	8	債券価値の変動を捉える					
	9	人口データを分析する					
	10	GIS の使い方を学ぶ					
	11	季節性があるデータを分析する					
	12	財政・社会保障を体系的に学ぶ					
	13	波及効果を測定する					
	14	確率的モデルのシミュレーションと乱数					
	15	モンテカルロ法 総合演習					
授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を一読し、専門用語の意味などを調べておく。(毎週 2 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	課題を Excel など、解いておくこと。(毎週 2 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	課題・レポート 平常点 (講義中の態度・質疑・発言等)				80% 20%		① ② ③ ①
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	桜本健他編集・執筆『専門基礎ライブラリ 経済系のための情報活用 2 Office2019 対応 統計データの分析』						
参考文献	必要な資料は、適時配布する。						
その他	経済産業省、内閣府、三菱総合研究所で講義した内容を、学生向けにわかりやすく説明する。公務員志望者はぜひ受講してほしい。 初回から、ノートパソコンと LAN ケーブルを必ず持参すること。 五分の三以上の出席を要件とする。 所定の講義回数を超える欠席については単位を認定しない。						